



尼崎市立武庫中学校

学校だより 平成24年10月号

校訓 友愛 正義 自主 創造 健康

みんなのいい顔、いい心で創り上げていこ

## 文化発表会に向けて勝利のドラマを

校長 大石泰樹

文化発表会・合唱コンクール(10月25日)が近づいて来ました。舞台発表・展示など各クラスの取り組みが始まります。中間テストが終わったら本格的に合唱の練習が始まり、校舎のあちこちから歌声が聞こえてくることでしょう。

合唱はみんなのいい心で創り上げていくものです。心の思いは顔や態度、声に表れます。古典には「ことばというは心の思いを響かせて声にあらわすというなり」とあります。はずんだ心からは明るい声が、不満、いやいやな心からは暗い声が出てきます。それを聞いている人にも楽しい気分、いやな気分を与えてしまうでしょう。何回練習しても心が貧しければいい合唱にはなりません。かつて、音楽の先生は「合唱は、学級全員の意識・気持ちを一つにして歌うということです。みんなの声が一つになって、思いが一つになって、すばらしいハーモニーがもてたとき、心の底から喜びを感じ表現できることができます。」と言われていました。去年は、3年3組が中高合同音楽会で最優秀賞に輝きました。あの時の歌がそうでした。

全員に感動を与えられるような合唱、劇を創り上げていきましょう。そのためにも“真剣”の二字を忘れないように。そして、合唱コンクールの当日は、各学級が心一つにしたすばらしい合唱を披露してくれることを信じています。

**異体同心の団結で!!**



人それぞれに個性があり違いはありますが(異体)同じ目標に向かって心が一つにまとまったら(同心)思ってもみなかった力が出てくるものです。これを異体同心と呼びます。全クラスが異体同心の団結で、合唱・展示に取り組んでください。

## いじめはいじめる側が100%悪い

**いじめは絶対に許されない最大の人権侵害です。**

いじめは絶対に許されない最大の人権侵害です。「いじめられる側にも原因がある」といっていじめてもいいという理屈はまちがいです。いじめは、いじめる側が100%悪い!いじめられていい子など断じていません。

いじめられている人は、一人で悩まないで勇気を出して大人(教師・親)に相談してください。君の命を守ってくれる人が必ずいます。君は絶対に一人ではないのだから。君はどこも悪くない。いじている側が100%悪いのだから。「ぼくが悪いのかな」なんて考える必要はないから。

いじめをみているまわりの人はどうすればいいのでしょうか。いじめをみたとき、なんとかしてあげたいと思っている人が多いと思います。原則はいじめを見た時は勇気を出して注意すべきです。でも、注意したら今度は自分がや

こころの教育講演会を9月26日に1年生を対象に「性教育」を中心に行いました。第二次性徴に伴う思春期の不安、男性器、女性器のはたらきについて布模型を提示しながら説明があり、性器のそれぞれの働き、思春期に多い性の悩みについて学習することができました。生徒は照れながらも「分らなかったことが分かってよかった」と多くの生徒が書いており、思春期の不安や悩みに向き合えるというねらいに近付けたと思います。

れるとか、いっしょにやらないと自分がやられると心配することがあります。そんなときは、大人に言ってください。いじめられている人にそっと「あなたのこと分かっているからね。負けないで」と声をかけてあげてください。味方になってあげてください。

視聴覚鑑賞 「狂言」



朝のあいさつ運動の様子

